

「ようこそ、先輩！」

校長 東峰 秀樹

「自分が通っていた頃と校舎は変わったけど、みんなと話しているとあの頃に戻りました。」

今月 13 日（月）、プロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」の選手として活躍している島谷怜選手が本校を訪れ、6年生の子どもたちと交流してくださいました。

島谷選手は5・6年生時の2年間で本校で過ごし、当時からミニバス少年団で活動していたそうです。プロ選手となる夢を叶えた今、当時を懐かしみつつ母校の後輩とバスケットを通して触れ合えることの喜びを感じながら、ミニゲーム等に汗を流されていました。子どもたちの質問にも真摯に答えてくださった島谷さん。

「プロとしてプレーすることへの不安などはありません。それよりももっと上手くなれる、そんな気持ちをもって取り組んでいます。子どもたちの指導にいただいた先生や支えてくださった方々が喜んでくれるようなプレーを見せたいと思っています。」



同日、島谷選手の同級生で、本校で教育実習を行い、現在市内の小学校で勤務されているS先生も来校してくださいました。実習当時、一緒に学んだのが6年生の子たちだったそうで、夢に向かう子どもたちの背中を後押してできればとの思いから、島谷選手との「共闘」が実現しました。勤務先でも中核教員としての役割を担い活躍されているS先生。後輩をみる眼差しも、先輩のというよりは教師としての慈愛に満ちていることがうかがえます。島谷選手と同様に、「プロ」として第一線で活躍されている姿を子どもたちに見せてくださいました。

話は変わりますが、昨年、本校で教育実習を行ったH大学のOさんが、現在学生支援ボランティアとして週1回子どもたちの支援にあたってくださいています。

「当時緑小でバスケットを指導してくださった先生のようになりたいくて、教員を志しました。」というOさん。子どもたちの心もしっかり掴み、日々の成長をアシストしてくれています。夢を追うことの素晴らしさ、夢に邁進し努力する大切さを、その姿を通して伝えてくれています。



子どもたちの可能性は無限です。今、心にある夢をずっと持ち続け叶える子もいれば、今後の運命的な出会いによって新たな夢をもち実現する子もいるでしょう。

夢は「見るもの」ではなく「叶えるもの」とも言われます。夢の実現のために自分は何をすべきか、どんな力を育まねばならないか、そしてどんな自分であるべきか…を考え、努力しなければなりません。決して順風満帆ではなく、紆余曲折もあることでしょう。でも、その時に…「夢を叶えた幸せな自分」「周りの人に喜びや笑顔を与えられる自分」「人のため、社会のために力を尽くす自分」を想像し、苦しくても奮い立たせることができれば…あきらめることなく、また一歩、また一歩と前に進むことができるはずです。

緑小の同窓の先輩方から受けた刺激、交流を通して受け継いだ熱い思いが、そんな子どもたちの心を支える一助となれば…そして、いつの日か今度は夢を叶えた子どもたちが、後輩へエールを送ってくれたら…。ファミリー緑の絆により、輝く自分を、そして豊かな街・社会をつくりだしてくれたら、こんなに素敵なことはないと思うのです。

かけがえない出会いが、人生に大きな転機をもたらすきっかけになることもあります。先輩方との触れ合いを通して、夢や生き方について考える機会をいただけたこと、これも一つの「感動体験」です。「先輩みたいにかっこよく生きたいな。」「先輩に負けじと頑張ろう!」…そう心で感じて動く子どもたちの、今後益々の頑張り・活躍を期待しています。

1学期間の保護者・地域の皆様のお力添えに感謝申し上げます。ありがとうございました。

1日(水)・2日(木)の2日間、5年生が国立日高青少年自然の家で宿泊学習を行いました。沙流川での「沢登り」や、日高のまちを舞台とした「ひだからハンター」など、計画していたプログラムをすべて実施することができました。班長を中心に集団行動を意識し、お互いに協力し合う姿が随所に見られました。日頃の学習の成果が大いに発揮された宿泊学習となりました。保護者の皆様には、持ち物の準備や送り迎え等、ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

【レバンガ北海道 学校訪問】

本校出身の島谷怜選手が、本校の6年生にバスケットボール教室を開いてくれました。ミニゲームでは、ダンクやシュートブロックなどまさにプロの技を見せてもらいました。短い時間でしたが、緑小の先輩と楽しい時間を過ごすことができました。

【いじめ問題子どもサミット】

7月2日(木)、「苫小牧市いじめ問題子どもサミット」が開催されました。各校の児童会、生徒会の代表がいじめの問題についてオンラインで意見を交換し、考えを深め合う取組です。本校からは、児童会役員の6年生2名が全校児童を代表して参加し、他校の子どもたちと意見を交わしました。本校でも日頃から「いじめを絶対に無くそう」という共通の思いを大切にし、互いを思いやる心を育む取組を進めています。

【道徳研修会】

14日(火)は、市の教職員を対象とした研修会が緑小で行われました。東京から外部講師を招き、6-1の児童を対象に道徳の授業を行いました。子どもたちは、多くの参観者が見守る中でも、積極的に発言をしていました。学びに向かう姿勢が立派でした。

【文化委員会「ミニ・コンサート」】

文化委員会企画の「ミニ・コンサート」が開催されました。希望者がたくさんの観客の前で歌やダンス、ピアノやリコーダーの演奏等、バラエティーに富んだ発表を披露してくれました。堂々とした立派な演技、演奏の数々に、会場は盛り上がり、大きな拍手を送っていました。

【学校閉庁日について】

8月11日(火)の祝日をはさみ、8月10日(月)から14日(金)までの5日間を学校閉庁日とさせていただきます。この期間は教職員が不在となりますので、学校への連絡は8月17日(月)以降にお願いします。

また、夏季休業中の学校への電話連絡は、8:00から16:30の時間帯にお願いします。

なお、休日等に事故や災害等で緊急に連絡が必要となった場合は、苫小牧市教育委員会(TEL:32-6739)までご連絡願います。

【通知票の配付時期について】

本校では、次の期日に配付する予定でありますので、ご承知おきください。

- ・1回目 4～9月までの評価

〈10月2日(金)〉

- ・2回目 10～3月までの評価

〈3月24日(水)※6年生は19日(金)に配付予定〉

【北海道子ども相談支援センターの 相談窓口について】(再掲)

北海道では、悩みを抱える児童生徒の心のケアや保護者からの様々な相談に対応するための窓口を開設しています。下のリンク又はQRから詳細をご確認ください。

[子ども相談支援センター - 教育庁生徒指導・学校安全対策局生徒指導・学校安全課](#)

〈QRコード〉



【8月の主な予定】

24日(月) 転入受付 10:00

25日(火) 2学期始業式 図書返却週間
※5時間授業・給食あり

26日(水) 2計測・視力検査(6年)

27日(木) 2計測・視力検査(5年)

28日(金) 2計測・視力検査(4年)

31日(月) 2計測・視力検査(3年)